

大茶会

各会場 11月5日(土)～6日(日)

大茶会会場のオープニング



ふるさとセンター会場では、
実行委員会会長が挨拶。



500日から始まったカウ
ントダウンも、ついに
「0」になりました。



いよいよ大茶会も始まりました。



ふるさとセンター会場



アサヒビール 大山崎山荘美術館会場



離宮八幡宮会場



宝積寺会場



ふるさとセンター会場

大山崎町公民館茶道サークルが運営する茶会

茶室・麓庵(ろくあん)



緊張した面持ちで茶室に座る来場者に亭主を務めるサークル員がご挨拶。



美術家・乃村健一氏デザインのオリジナル茶室「麓庵」は仮設ながら、本格的なしつらえです。

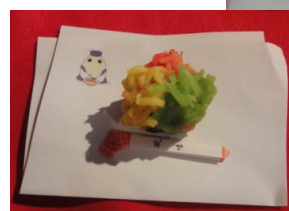
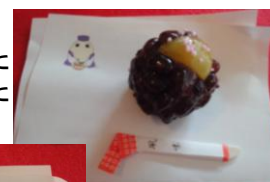


戦国時代の登場人物である前田利家、北の政所、江が席入りする華やかな茶席が実現。



武将やその妻たちが同席する茶会は参加者にも人気がありました。

日ごとに替わった菓子に添えられたまゆまる懐紙



会場には、武士が実際に用いた甲冑も展示し、戦国ムードを盛り上げました。



茶席を運営したのは、「茶道サークル」「なつめ会」。訪れた人たちに心づくしのおもてなしをしました。



宝積寺会場

大山崎ふるさとガイドの会が茶会を運営



大山崎ふるさとガイドの会メンバーが運営した宝積寺会場での茶会。茶席には、豊臣秀吉や千利休、家臣なども登場し、来場者をもてなしました。



宝積寺会場受付

興味深く話を聴く来場者の皆さんに家臣たちが茶を呈する姿。宝積寺の茶室は、しばし戦国時代にタイムスリップです。



多くの来場者のもてなしに専念した「千利休」。

予想を上回る客入りに、急きょ別室も使って、茶席を広げました。



離宮八幡宮会場

大山崎町商工会女性部が運営する茶会



茶席は亭主のあいさつで始まります。



商工会女性部のみなさんのもてなしを受け、笑顔がこぼれます。

茶の湯のもてなしに来場者の心も和みます。



離宮八幡宮会場では、細川忠興と細川ガラシャ（玉）が来場者をお出迎え。

宵茶会では、京都造形芸術大学の学生たちがデザインした茶室で、幻想的な空間の中、来場者がお茶を味わいました。



宇宙を思わせるような不思議な空間に来場者も驚いた様子でした。



アサヒビール 大山崎山荘美術館会場

地域の皆さんやアーティストが亭主を務めた「市民茶会」



アーティスト・山崎正裕さんの茶席



子ども茶会



鴨ん会による茶席



日菓×hakuによる茶席。かめの甲羅が何枚もの皿になります。お菓子は鬼をモチーフにしています。

地元の西乙訓高等学校

茶道部員が運営した「高校生茶会」



西乙訓高等学校茶道部の生徒たちも、日頃の練習の成果を発揮してお客様をもてなしました。